
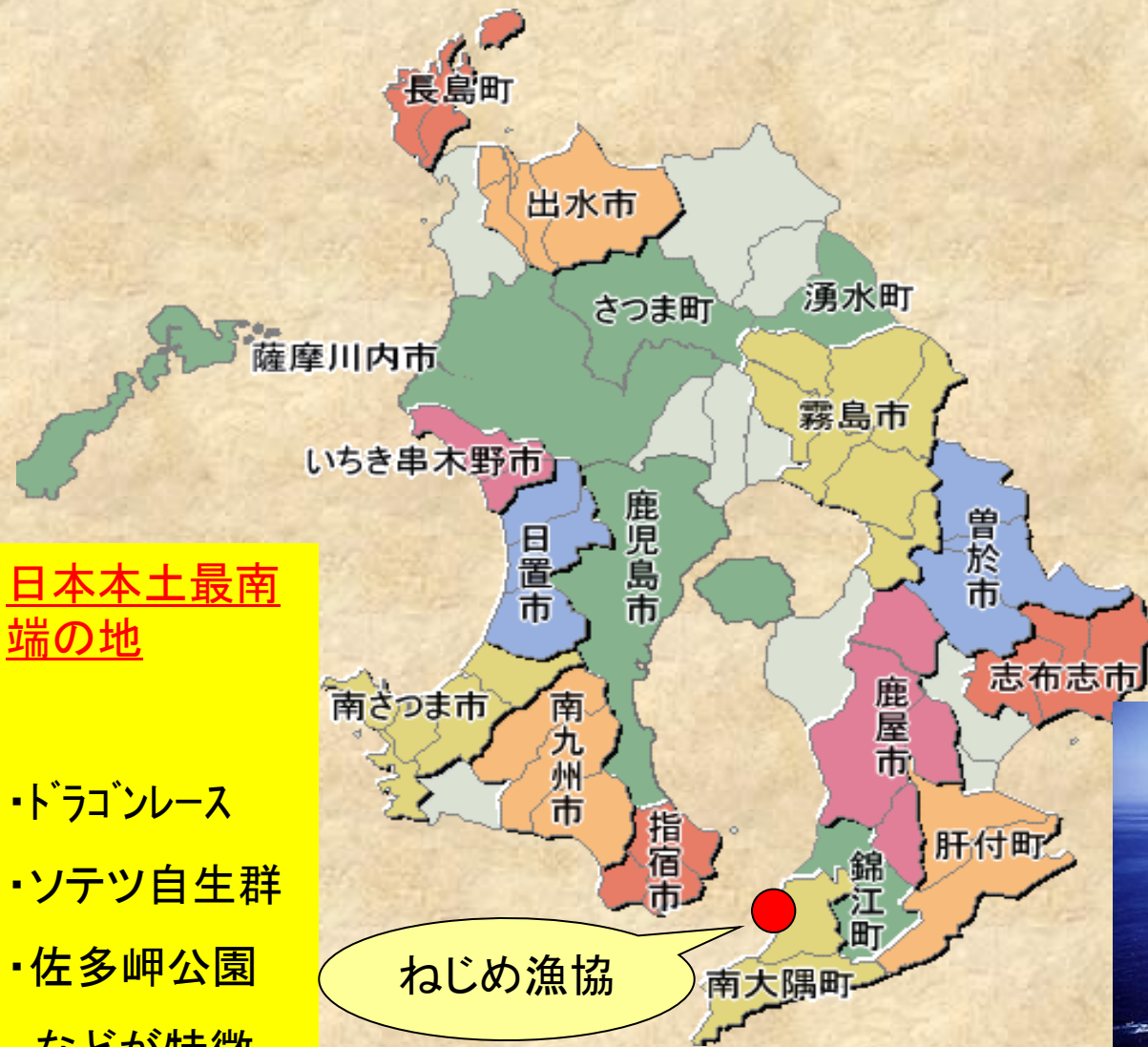


「新たなカンパチ養殖への取組み」 ～エサを減らした早出し出荷への挑戦～



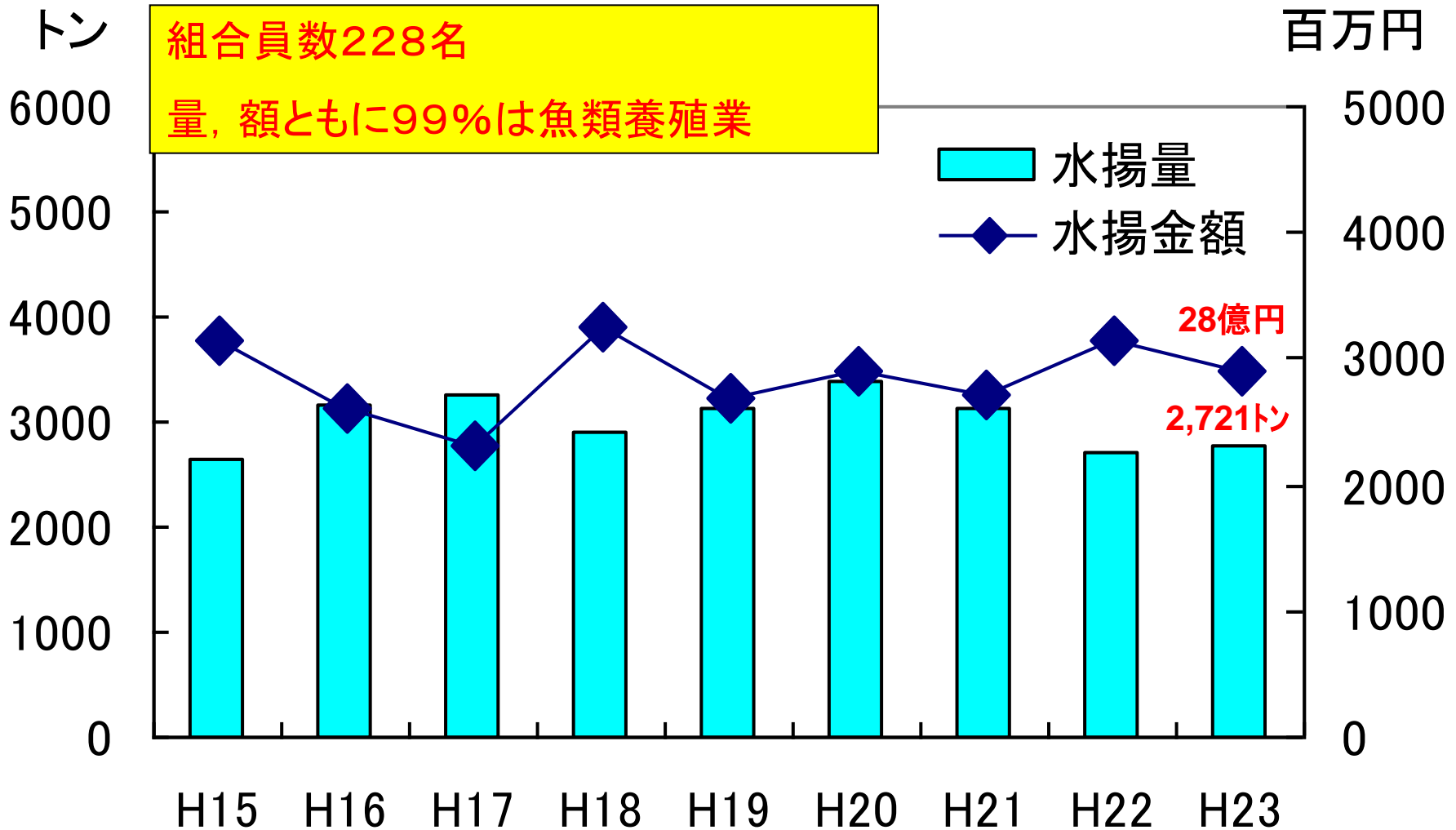
ねじめ漁協 (有)丸秀水産代表 小浜洋志



日本本土最南端の地

- ・ドラゴンレース
 - ・ソテツ自生群
 - ・佐多岬公園
- などが特徴





ねじめ漁協全体の水揚量・水揚金額


主な養殖魚は「カンパチ」

平成18年

「かごしまのさかな」にブランド認定される




ねじめの漁場は、7月に良質のカンパチを出荷できる「早出し」が特徴。



鹿児島湾随一の早出し産地

安心!安全!おいしい!
「ねじめ」のカンパチ



ねじめ
黄金カンパチ

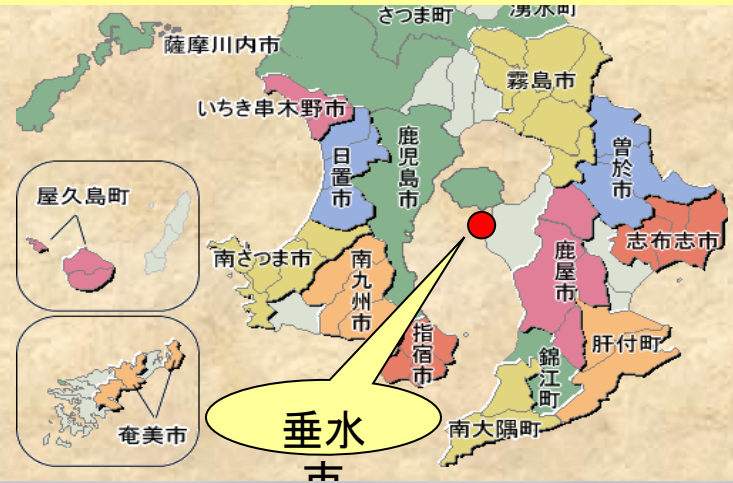
JF ねじめ漁業協同組合
〒893-2502
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南1104番地



父



父も垂水市漁協で(有)小浜水産を経営。兄も専務を務める。



兄



たるみず
垂水市の漁場

餌を減らす取組を始めた理由

(有)丸秀水産の代表になったH19年頃

養殖カンパチの市場価格が安く、非常に経営が苦しい。



平成20年、カンパチ養殖業者で集まり、経営コスト削減について検討 → 削減できるのはエサ代ぐらいしかない。

それまでの養殖といえば、なるべく多く給餌し早く成長させるのが常識だが...



ならば、これまでの常識を捨てよう！

給餌量を減らして「早出し」に挑戦しよう！





給餌の様子をもう一度観察してみよう



給餌をすると、集団で何かを吐き出すのが見えた。



調べると消化不良の餌



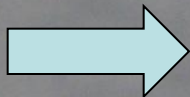
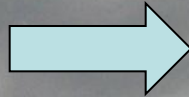
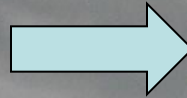
新しい餌が来ると、吐き出すのを学習しているのでは？
エサ代がムダ。

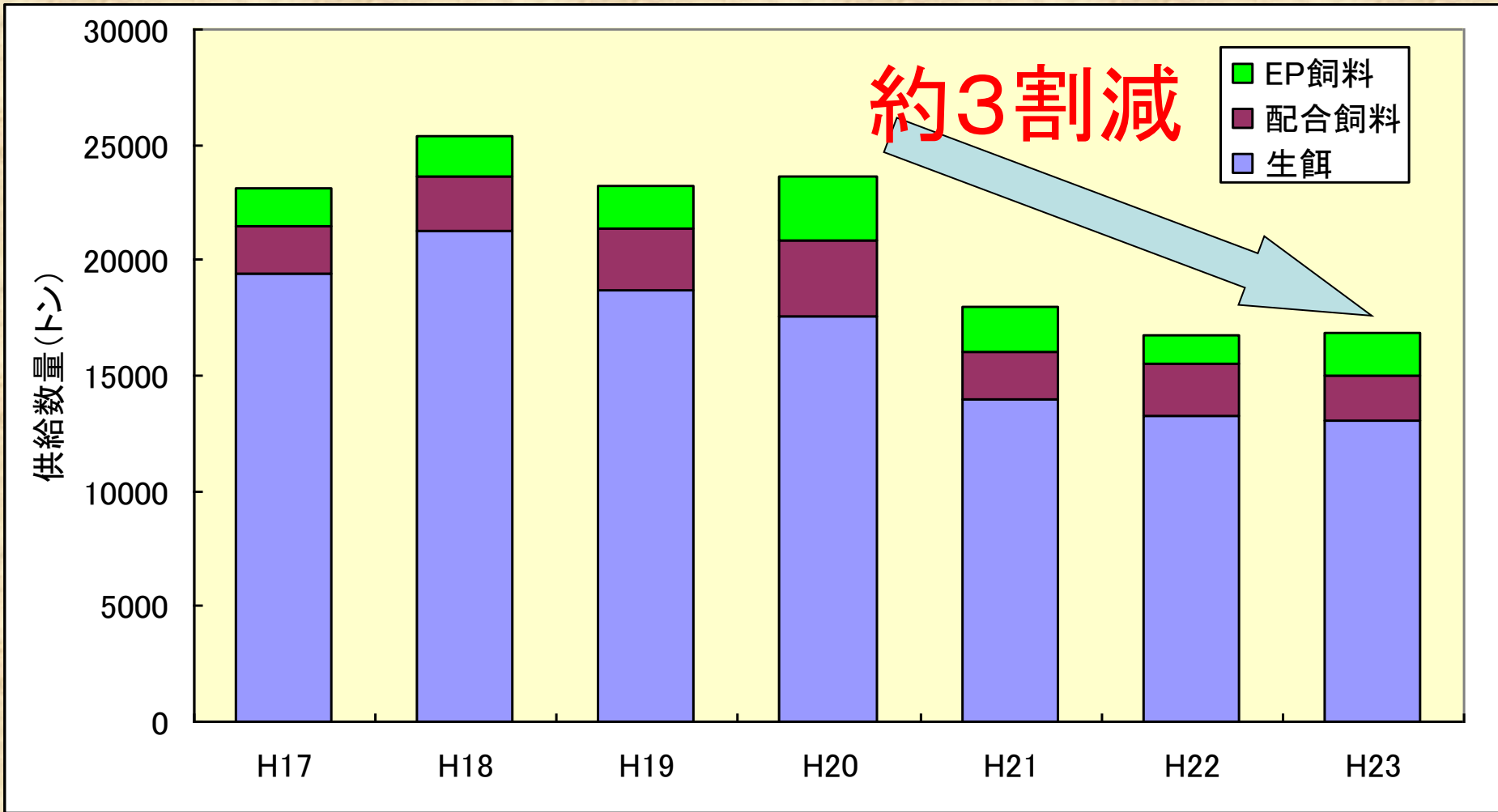


給餌量を減らせる！

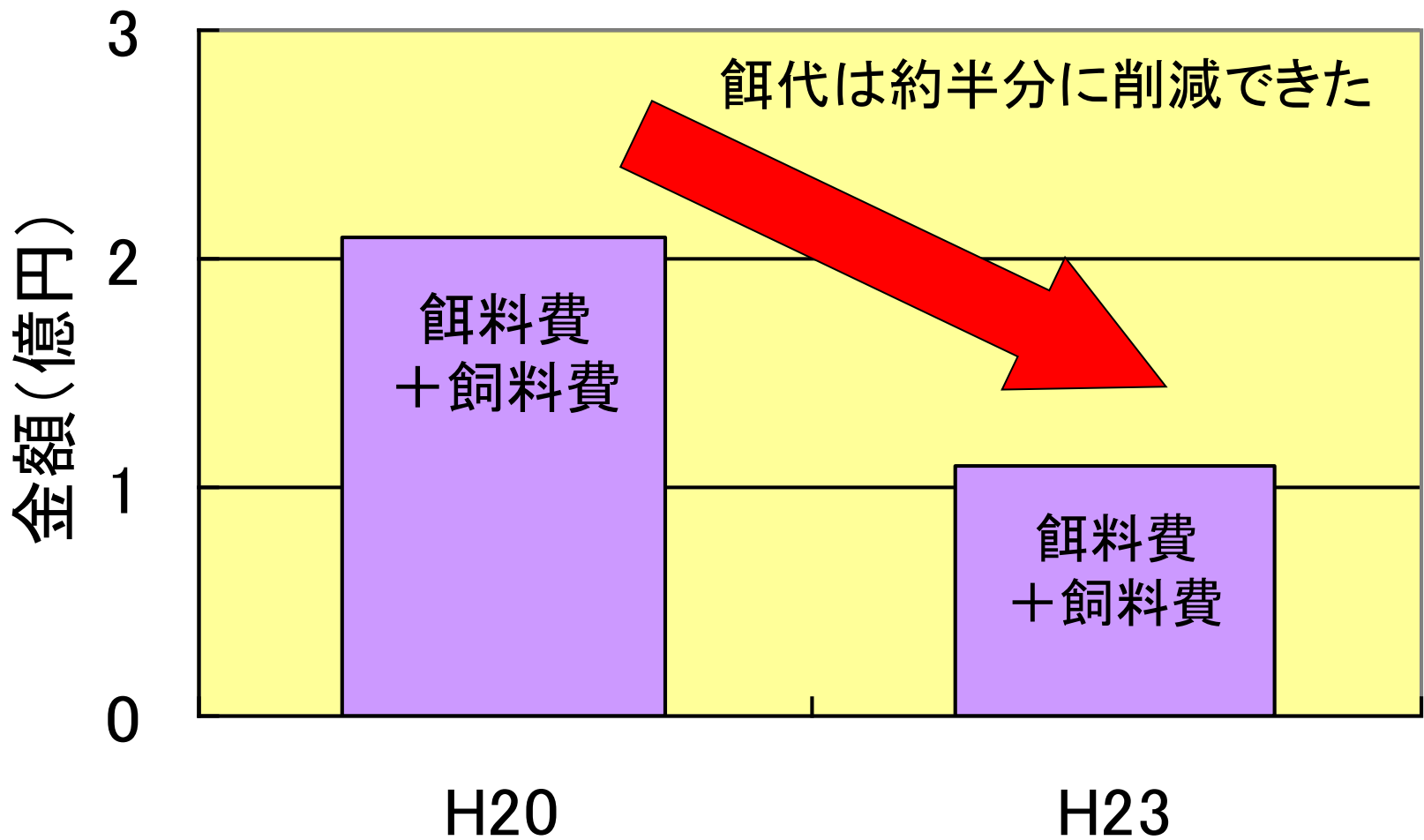
生簀に油分が浮いてくる

➡ 給餌間隔を開けよう！

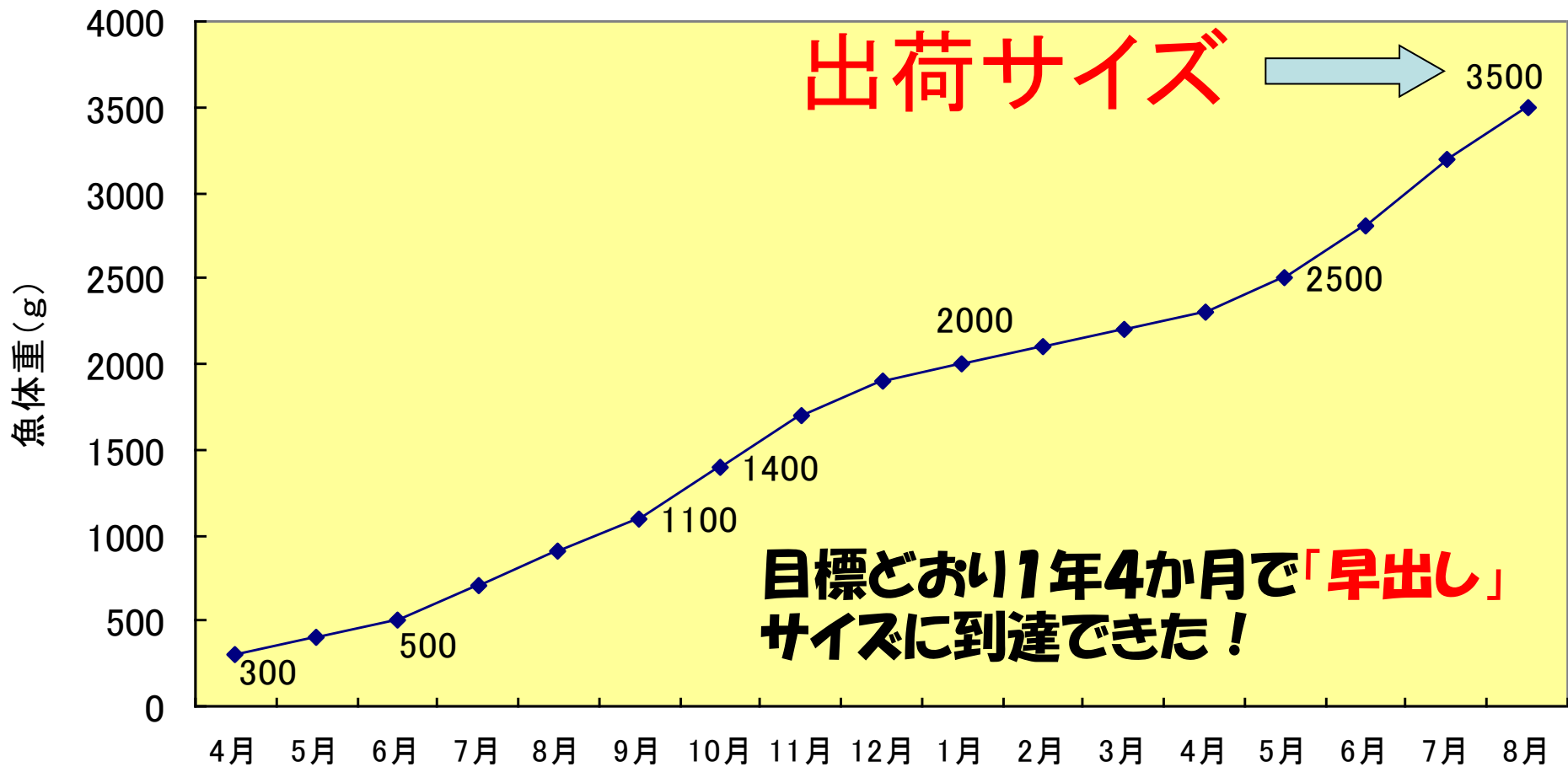




ねじめ漁協の飼料, 餌料供給実績



丸秀水産の餌代(餌料費+飼料費)の推移



丸秀水産の成長曲線

平成11年の会社設立から、
ワクチンは接種していない。

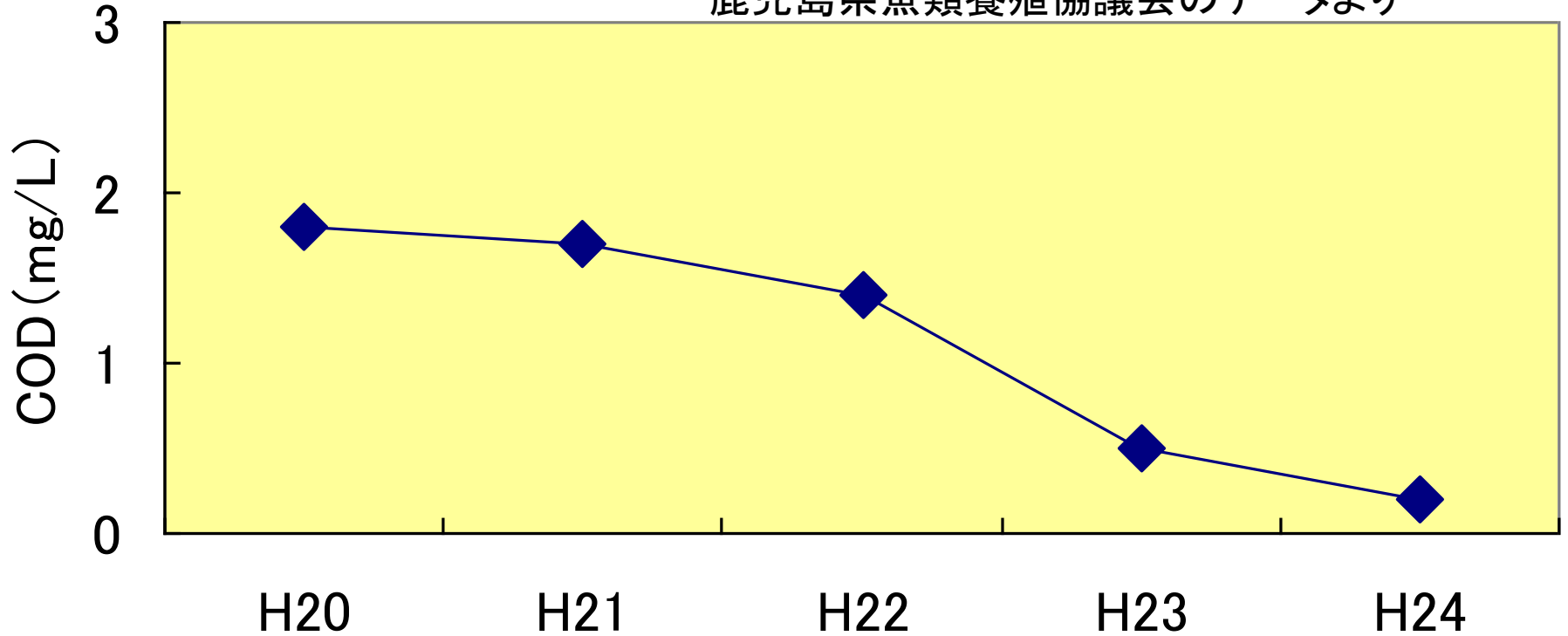


ワクチン接種

H23年導入産は
生残率98%

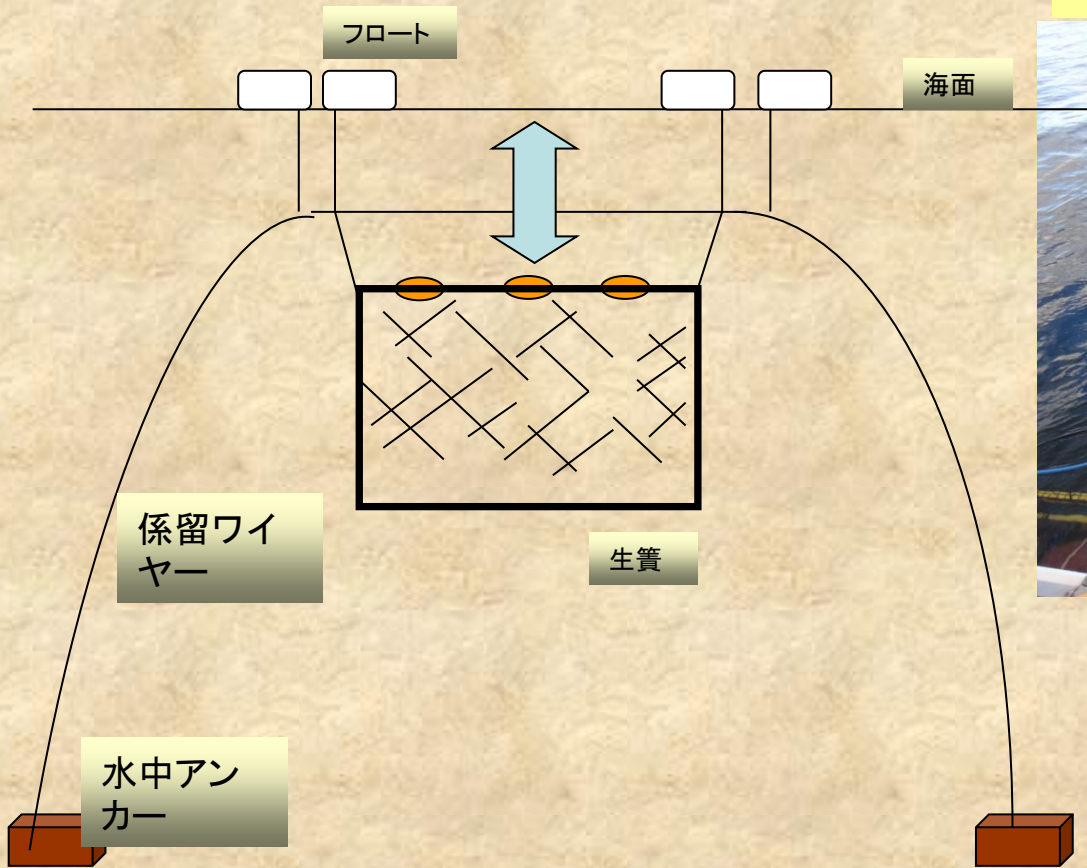


鹿児島県魚類養殖協議会のデータより



ねじめ漁協の水質中COD値の推移(9月)

沈下式の生簀



生簀を沈める時

- ・台風等の直前
- ・冬場のシケの直前
- ・猛暑の高水温時 など

沖縄のスーパー「サンエー」での販促活動 (H24.12/8~9)



兄は「シーフードマイスター」
私は「ジュニアシーフードマイスター」

小浜水産 独自の養殖方法で築くトップクラスの実績

父



兄



カンパチ生産量、全国屈指 松江湾で年間約25万尾

長尾にひたる里の経営者
秘伝は独自の養殖方法

驚異の「ローコスト給餌法」で実現した高品質カ



ローコストに徹した給餌法 「オハムスタイル」を確立

給餌削減 餌増減の質
各誌への掲載が1〜2回

少ない給餌量でも効果的 増肉と脂質向上を実現

「オハム」は「土間」で、
カブリ（ピカタ）と「

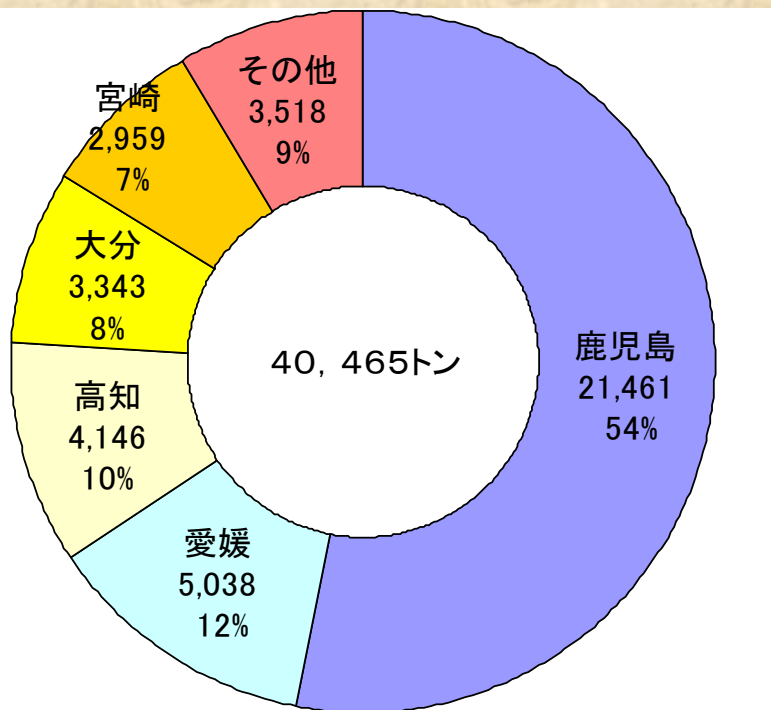


船橋の沖合で水産会社の漁船が航行し、遠方に飛ぶ鳥の姿が映る。

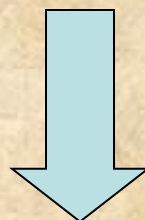


長尾にひたる里の経営者
秘伝は独自の養殖方法

これからの課題



本県が**5割以上**を生産している。
→しかし、平成24年は例年になく市場価格が低迷し、どの業者も経営が厳しかった。



全国の養殖カンパチ生産量 (H22農林水産統計)

※これ以上市場価格が下がるとカンパチ養殖全体が危機的状況に陥ることが心配

※今後のカンパチ養殖発展のために、販売活動促進を積極的に行い、消費者が必要とするカンパチを作り、業界の発展に少しでも尽力したい。



人工カンパチ

平成23年度から人工カンパチを
導入し、飼育中。

餌を減らして「**早出し**」出荷ができた。しかし、
ここで終わりではない。

改善点があれば積極的に取り組んでいく。





**私の取り組みが全国の養殖経営
改善に役立てればと思います。**

**日々研究を重ねて、さらに美味し
いカンパチを作っていきたい。**

ご静聴ありがとうございました。

極上カンパチ